

第 5 回本別町総合計画推進委員会会議録

期 日 令和 2 年 10 月 8 日 (木)

15 : 00 ~ 16 : 41

会 場 役場 3 階会議室

✓	✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
大和田副町長	佐々木教育長	一条院長	村本課長	篠原課長	大橋課長	飯山課長	久司課長	小坂主幹	坪課長	宮崎主幹	花房室長	倉崎局長	三品局長	前佛所長	藤野事務長	阿部次長	高橋課長	上原署長	高橋事務局長

1. 開 会

事務局長

2. 挨拶 本別町総合計画推進委員会 委員長 大和田副町長

割愛

3. 経過報告

令和 2 年 9 月 7 日 第 4 回本別町総合計画推進委員会

4. 協議事項

(1) 第 7 次本別町総合計画の素案について

黄色マーカー表示 : 審議会修正

赤字表示 : 第 4 回推進委員会後修正

青字表示 : 各課意見による修正 (資料 1 意見まとめ)

① 【はじめに】について P1~6

事務局 計画の趣旨等読みあげ、修正箇所を説明

事務局長 少し分かりにくい説明になったが、修正した箇所を中心に説明させていただいた。職員から色々な意見をいただいたものを修正した形になっている。

大和田委員長 1 ページ計画の趣旨で「審議会のご意見を参考」となっている。参考では無いと思う。町長が諮問して答申する組織であるから、参考では無くてしっかりと審議をいただいたのだから。

事務局長 今の書き方ではアンケートと同列になっているので、修正します。

委員 6 ページ。テレワークは強いられるものなのか。時代に適応したものではないのか。在宅勤務は強いられるものかもしれないが。テレワークを通常として実施しているところもある。

委員 見通せない状況になっているのであれば「強いられている」で良いのでは。

委員 こういうことをしている等の内容であれば新しい生活様式に変わってきているので良いが、現況見通せない状況であればこのままで良い。

委員 学校の休業と並列になっているからではないか。テレワークは良い意味で使われる。

委員 テレワークを削ってはどうか。

事務局 わかりました。

事務局長 他にありますか。なければ次に進めます。

② 【基本構想】について P7~9

1. 将来像について
2. 基本目標について
3. 目標と将来人口
4. 今後の財政状況

事務局 読みあげ説明

事務局長 何かお気づきの点等ありましたら。

委員 6次産業を進めて行く、地産地消を高めるよりも安心安全で豊かな食のために、食料基地としてという内容が良いのでは。

委員 農業の振興は地産地消より、外に向けての取り組みが必要ではないか。

委員 農畜産物の安定供給は大前提であって、基本的には町にお金が入ってこなくてはならない。物が売れないといけないという観点が本別町のまちづくりに必要なことではないか。安定供給が笑顔につながるのか。農業がけん引して他の産業も波及させて町民の笑顔をつくるということが考え方で、ここの表現がされるべき。

事務局長 稼ぐ農業を進めていくという考えかたですね。

事務局 そのような内容に修正します。

委員 ここに書いてあるとおり農業が地域産業を含め発展させていくということを、今回の総合計画のはじめに言うので、どうしていくのかが見えるような文言に。安定した農業からわくわく笑顔をつくり出すように。

委員 考え方としては農業が発展することによってまちにうるおいが生まれ、ひいては商工業が発展する。循環するということ。

事務局長 全ては基幹産業の農業が確立され、商工業、観光に良い影響を与えとの趣旨になります。

他になければ進めますがよろしいでしょうか。それでは前期基本計画に入ります。

③ 基本構想と基本計画の体系図について P11~12

④ 前期基本計画について P13~56

事務局 ①農業の振興から③観光の振興までを説明

施設を実施する部課局名では施設の名前が入っているが、部課局名で止めるべきではとの職員意見もいただいています。後程、協議いただければと思います。

また、数値目標について町民に対してどう思うかとの問いかけが多すぎる。補足資料としては良いかと思うが、客観性に欠ける。指標とするのは適切でない職員意見をいただいています。これにつきましては、審議会において施策によっては数値化することが難しいものもある。目標ありきでは無くて施策に重きを置くべき。また、指標の設定はアンケート結果も活用すべきで、満足度調査を設定したものについてはその変化を見ることができると意見が出されているところです。

事務局長 ①から③まででお気づきの点がありましたら。

事務局 施設名の表記についてはいかがでしょうか。この施策はこの場所で行われますということを町民の方に分かっていたくために施設名まで表記したのですが。逆に分かりづらいということがありましたら、課までで止めますが。

委員 これまで入っていなかったものをなぜ入れたのか。町民の人にわかってもらうためであれば施設名を入れるべき。

事務局長 それではこれから進めていく中で全体を通りしてまた意見がありましたら、いただきたいと思います。次に進めます。

事務局 ④子育て支援の充実から⑨医療体制の維持までを説明

子育て支援では数値目標の出生者数を削っています。それに対して職員意見では目指す姿で少子化の改善といているのに削るのはいかかとの意見があります。事務局としましては出生率では総人口を分母としますが、男性も、高齢者も含めて1,000人当たり子どもが何人生まれたかの数値になりまして、指標として参考にならないという学者もあり、また、特殊出生率では15歳から49歳までの1人の女性が何人の子どもを産むかを示すもので女性の各年齢の出生率を足し合わせて算出しますので、非常に手間がかかる作業となります。出生数では昨年1月から12月までの子どもが生まれた数値になりますが、基準年が27人と少なく、人口推計では極端な結果になるため削っています。

⑨医療体制の維持では現状と課題の箇所を先程、お配りしましたものに入れ替えたいと思います。

事務局長 ④から⑨までのご意見をお願いします。

委員 ⑨医療の診療料等の件数はこの「件」ではなく「軒」。でも事業所とか施設の方が良いのでは。

事務局 そうですね。

委員 歯科が入っているが医師数には含まれていない。

事務局 歯科は歯科医師です。

委員 ⑥番と⑦番の数値目標をもう少し検討したいのですが。

事務局 分かりました。

事務局長 その他ございますか。

進めてよろしいでしょうか。

事務局 ⑩学校教育の充実から⑫スポーツ活動の推進を説明。

⑪社会教育活動の推進では目指す姿像を変更します。明るく豊かなふるさとづくりに参加しています。に改めます。ふるさとづくりとはある場所に心を寄せるという意味で、新しく住まわれた人であっても帰属意識が高まることにより、新しい場所をふるさとと思えるような取り組みになります。

事務局長 では36ページまで何かお気づきの点がございましたら。

大和田委員長 33ページの数値目標で新型コロナウイルスの影響を加味して作成したとあるけれども、今後わからない事であるので、目標を基準年から通常の状態に算出すべきではないか。スポーツは減ってはいるけれども新型コロナウイルスの影響は見えない。

事務局 公民館の意見としては、新型コロナ影響を全体として統一して基準を示してほしいと意見があったところです。

大和田委員長 コロナ影響は考えなくて良いと思う。特殊事情のものであるから。

委員 8ページの人口目標を勘案して目標を設定すべきでは。

委員 学校教育の10年後の姿像について、もう少し教育らしい表現が良いのではないかと。基礎学力が身に付けるという内容が入っても。小学校、中学校、高校までのことであるのだから。

委員 重点的な取り組みには入っている。

委員 10年後の姿像はどこまで具体化するかだと思う。学力だけでなく体力もある。あ

まり細かな内容を入れると、くどくなってしまう。今回の計画は事務局としてコンパクトにするということなのだから。

事務局長 他にございますか。

それでは次にいきたいと思えます。

事務局 ⑬防災体制の推進から⑳開かれた町政の推進までを説明

⑮防犯・交通安全対策の推進について目指す姿に交通安全の項目がないとの職員意見がありましたが、目標において交通事故が無いといいきれないため含めないこととします。交通安全については重点的な取り組みで触れています。

事務局長 それでは㉑番目まで何かありましたらお願いします。

大和田委員長 37 ページの災害時要援護者の協議済みの自治会数目標について、現在76自治会であり、目標設定が厳しいのではないかと。それと43 ページ重点的な取り組みで、まちの明るさを演出するためとの表現はどうか。

委員 きれいなまちづくりにつながるではどうか。

事務局 そうします。

委員 49 ページの本別ハイヤーは路線名でなく、会社名である。公共交通の手段であるのは確かなことだけれども。

事務局 確認して必要な修正をします。

委員 町道の維持の部分が現状と課題に入っていない。数値目標には入っているけれども。課題には公共交通のことしか触れられていないので。内容をコンパクトにするということでは公共交通以下の表記は何々などとまとめた方がよい。それであれば本別ハイヤーの表記も解決される。

大和田委員長 道路の維持について入れる必要がある。

事務局長 他にございますか。

全体を通してありますか。

委員 数値目標ですが、これは基本計画である。実施計画レベルのものがけっこうある。例えば徴収率。総体的な税収をこれだけ確保しますというのであれば分かるが。収納率を上げますというのは基本計画なのかと疑問。全体的にそうである。

事務局長 事務事業評価レベルであるということですね。

委員 農業でも土地改良面積というよりも本別の農業が発展するためにはどれぐらいの農地面積が必要なのかということが目標として合うのではないかと。土地改良面積は基本計画なのだろうか。

事務局長 もう一段上のレベルが必要ということ。

委員 それでは数値目標は全部無くなってしまう。

委員 観光も個別では無くて本別町全体への見込みとなるべき。本別町全体にこれぐらいというものを数値目標に設定すべきでは。

委員 審議員さんは数値目標の設定をすべきとした。

事務局長 定住自立圏にあっても数値目標は全部において設定しているわけではない。これを全項目に掲げるとこうしたバラツキが出てきます。

委員 計上している立場にあってもそうは思うが、他にあげるものがないというのが現実。

委員 でもやはり実施計画のレベル。

事務局 数値目標の元々はもう少し大きなくくりで、5年後に基準年から上げる、維持することを示したものを審議会に提案しましたが、これでは全然分からないということで、それぞれの項目に数値を年度ごとに示すべき。そうでなければ評価にならないという指摘があって、このような形に変更してきています。実施計画の中で

も数値目標が出せるものについては定めていくこととはしていますが。今までそのような数値目標の設定はしてきていないので、設定の仕方というかが身につけていないこともあると思うのですけれども。

委員 これが達成できれば基本計画が総体的に達成できたという評価をするのか。

事務局 それぞれの実施計画に基づいて評価をしながら、基本計画の数値目標についてはひとつの基準と考えています。

委員 まち・ひと・しごとにも数値目標が入っている。

委員 例えば 13 ページの農林業の振興ということであれば、ここの姿像がどういう状態であるのかイメージして、その時の数値はどうなっているのか。全体の施策を反映した中での総体的にどうなっているかを本来、数値目標として置くべき。個別に実施した K P I という事業指標を積み重ねて、最終的に農地面積をいくら確保しなければならない。農家戸数は何戸で、平均耕作面積が何ヘクタールですとか、全体的なことを網羅するような施策を展開することを数値目標とすることが行政側のつくり方としては必要なこと。しかし、審議会の意見もあるのでその辺の調整が必要と思う。17 ページの観光ではステラほんべつが 1 つの観光拠点と考えると、これはそれぞれの事業毎の施策の結果であり、これをもっと全体化して、観光振興のことを踏まえた中で将来たくさんの方が訪れているという 10 年後の姿像につなげることが必要。それで設定している目標はと見た時に、もっと広い観光全体がどうなっていくかの数字になってくるのではという気がします。

委員 数値目標の設定は難しい。学校教育では目標が 2 つとも総合計画のアンケート調査になっている。学校教育をこのように 5 年間、10 年間このようにやっていくために、例えば学力テストなり、正答率が 6 割であったものを 8 割にしますというものではなくて、本別が好きと思うというもの。これは学校教育というよりふるさと理解教育なので、ここの数値目標を定める項目が各部署によってバラツキがある。これをどのように統一していくか。もう一度精査する必要があると思う。

事務局 数値目標もひとり歩きしてしまう場合もあるので、目標値については精査中とさせていただきます。

委員 それであれば、全体の数値目標を 1 枚に並べて見て整理することもできるのではないかな。

委員 そうすると整合性がとれる。

委員 単品で見えていくと中々気が付かないことも並べてみればわかる。

事務局長 数値目標の項目について現在こういうことを想定しているのだけれども、数値等についてはこれから具体化していきたいとさせていただきます。

委員 今、ここにきてこの議論をしているが大丈夫か。

委員 数値目標は前から議論していた。それで何度も変わってきている。

委員 数値を入れないで提示できるのか。

事務局 それが目標なのかとなりますよね。それであれば全部消すこととなりますよね。

委員 項目だけ記載してはどうか。

事務局長 具体的数字はこれからとして。

委員 数値目標については議論もしてきていて、各課にも事務局は連絡をしている。

事務局 統一がとれていないということは問題でした。

委員 バランスは色々となっているね。

委員 パブリックコメントの時に項目だけということではどうか。こういう項目で計画を作成したいと思っているのだけれども、いかがでしょうか。この項目ではダ

メではないかとの意見が出てくることも考えられるので。

事務局長 十勝定住自立圏のマスタープランでは数値については調整中としてパブリックコメントを実施していました。見ている方も重点的な取り組みだとか現状と課題はわかりつつも、その人によって 10 割実施しなければならないだとか、倍になったら目標として良いと判断するのか。それぞれが違う尺度を持っているのではないかと。数値目標について数値目標を入れなくても、この項目を尺度として考えていると。できればパブリックコメントの時までに数値が入れば望ましいのでしょうか。数値目標が高い、低いがまちづくりとして良いかどうかなど、議論はあると思いますけれども。基本的には目指すありかた、やりかたが問われるところだと思います。先程、お話のあった、施設毎で見て行くのか、総体的にまち全体で見て行くのか、大枠で見ていくのか等言われたことは理解できるので、これも先程出していたバランスだと思います。明らかに施設どうしで比べているものについては残しても良いのかもしれないけれども。種別が違ってそれぞれのレベルが違うものについてはもう一度、検討させていただいて、項目については精査中とさせていただきます。次の議題の今後の予定にも入ってしまいますが、明日の議員協議会では初めて提示するものでありますから、まずは見ていただいて、別の機会にご意見をいただいたり、パブリックコメントのときにご意見をいただく形でご意見を寄せていただくこととしたいと思います。

これまで、基本計画の目標数値について、色々ご意見をいただきましたけれども、その他に何かお気づきの点がありましたら。

よろしいでしょうか。それでは次に進めさせていただきます。

⑤ S G D s ゴールと施策の関り説明 P57～66

⑥ 町章・町民憲章・各宣言 P67～70

事務局 S D G s ゴールと施策がどのように関わりがあるのかを 57 ページから 66 ページで説明。指標の右端に数字示してありますのは施策番号で、グローバル指標 1.3.1 では②④等を記載していますが、②であれば商工業の振興、④子育て支援の充実を表し、S G D s 指標と施策との関りを表示したものになります。

67 ページからは町民憲章と各宣言を資料として付けています。

事務局長 S D G s 以降は資料編ということでご理解ください。S D G s と施策の関りについて示したものです。S D G s は今後、業務に関わることを意識していかなければなりませんので参考にもなると思います。また、町章、町民憲章、各宣言も資料です。

計画書の編集については今後、整理をしていきたいと思っています。これらについてはよろしいでしょうか。それでは次に今後の日程について説明します。

(2) 今後の日程について

事務局 レジュメに記載の事項を説明

10月9日 議員協議会

10月15日～11月4日 パブリックコメント

農協・商工会との意見交換

パブリックコメントを受けて修正後

総合計画審議会

総合計画推進委員会

議員協議会

総合計画策定審議会答申

12月 議会提出

2月 表紙決定、冊子印刷

事務局長 今後の日程について何かありますか。無ければその他ありますか。

それでは長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。

大和田委員長 大変お疲れさまでした。10年後の本別町のある姿について定めた総合計画です。明日は議員協議会に説明します。これは自分たちも関わってきた計画です。しっかりと意見をしてつくっていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。当然、令和3年度の当初予算にも絡んでくる部分でもありますので、その辺も頭に入れながら進めていただきたい。合わせて行革、地方創生もありますので整合性が取れるように取り組んでいただきたい。よろしく願いいたします。

(3) その他